

<h1>名古屋丸の内ロータリークラブ</h1> <h2>Weekly Report</h2> <p>例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000 例会日時 木曜日 12:30 クラブ会報広報委員長 立石ゆかり HP http://rc.nagoya-seinan.org/</p>	2021-22年度RLテーマ 会長 シェカール・メータ  奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため	承認 1995.3.28 会長 亀井 克典 幹事 松尾雄二郎 事務局 名古屋市中区栄3-29-1 名古屋クレストンホテル 1007号 TEL 052-263-1324 FAX 052-263-0730 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp
	亀井克典会長 年度目標 : ポストコロナの時代に向けて、新たな親睦、交流、奉仕の活動をはじめよう	

第1165回 例会	No. 2 令和3年7月15日(木)
■ロータリーソング	「我等の生業」「四つのテスト」
■出席報告	会員42名中21名出席
■出席率	52.85% 出席計算人数39名
■スピーカー	西川 博さん、恵利有司さん他

会長挨拶 **亀井克典**

みなさんこんにちは。
先回の例会で、ワクチンの話をしました。



ゲームチェンジャーということばがありますが、非常に劣勢の局面を好転させる、ということです。
治療薬に関しては、インフルエンザでいうと「タミフル」がありま

すが、これは20年くらい前に出てきて、それまで治療薬がなかったので、「ゆっくり寝て治しなさい」と言うしかなかったわけです。コロナも今、治療薬がない、有効なものが見つかっていないという状況ですが、重症な場合にステロイドだとか、エボラ出血熱に使う薬とかが使われるようになりましたけれど、一番我々が欲しいのは、発症して早い段階で、内服薬で「タミフル」みたいに飲んで、重症化しないという薬なのですが、それがまだ十分出てきていない。

ただ、みなさんも聞かれたことがあると思いますが、イベルメクチンと言う薬、これが実は40年くらいの古い歴史がある薬で、これを開発した大村智先生という北里大学の先生が、この功績でノーベル生理学・医学賞を受賞されていますけれども、今、疥癬、いわゆる皮膚のダニ、疥癬だとか寄生虫の特効薬として我々も時々使う薬なのですが、これが実はコロナウィルスの細胞への侵入とか増殖を防ぐ働きがあるんじゃないかと、今非常に注目されています。日本でも現在、治験が始まっています。年内には治験を終えたいと言っていますけれど、メキシコ、インド、ペルーとかブラジルなどで使われていて、かなり劇的に死亡率や重症化率を下げているという報告もあります。このイベルメクチンが、ゲームチェンジャーになってくれればいいなあと思っています。これは自費で買ったものですが、これ、イベルメクチン

が10錠入っていて、実は安い薬でして、保険診療だと1錠が650円くらいです。で、飲むときは普通の成人で1回4錠を1回だけ飲めばよくて、場合によっては、1週間後か2週間後に再度飲むんですけど、それだけですむ薬ですので、逆に安すぎて製造している会社が、なかなか積極的に治験をしない。「これ効果がある」と言って売っても全然儲からないということで、遅れているという話ですけど、こういったものが使えるようになって、ゲームチェンジャーになって、普通の生活に戻っていければ、本当にいいなあと思っています。今日のおはなしは以上です。
ありがとうございました。

二コBOX
<p>●本日の卓話は会員卓話として、クラブの委員会についてご報告いただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>亀井会長、松尾幹事、藤田、矢野、川原、岩田、森田、水野、恵利、石井、立石、後藤、西川、横田、田中、磯部、今村、田島（敬称略）</p> <p>長谷川さん 今月は私の誕生日です。お祝いをありがとうございます。</p>
本日合計 39,000円

米山功労者表彰

米山特別寄付にご協力いただき米山功労者となられました川原弘久さんに表彰状をお渡ししました。



卓 話

「青少年交換プログラム応募について」

西川 博

みなさんこんにちは。突然でどうしようかなと思ったんですけど、ロータリーの青少年交換プログラムに、家内の兄の孫が利用したいという話がきまして、7月になってからの話で、青少年交換自体も全くほとんど知らなくて、私が GSE 委員のときに多少聞いてはいたのでこういうのがあるというのは知っていたんですけど、まさかそんな依頼をされるとは思ってなくて、地区財団委員会でお世話になった人たちに夜電話して、「こんなことができますかねえ」と話したら「まあ何とかなるでしょう」と言うのと、もう一つは、以前はロータリアンの関係子弟はだめという厳しい条件があったのですが、今はすべてフリーになったということで、次の日に松尾幹事に電話してお願いをしたという次第です。



先に名前を言いますと、久保原由惟といいます。家内の実家の一宮に住んでいます。まだ中学 3 年生ですが、今回の試験に合格した場合、出発するのは来年の 8 月なので、もう高校 1 年になっています。高校 1 年生から 3 年生までという応募条件です。そして応募締め切りが今日なんです。亀井会長にたった今承認の署名をしていただいたところなんです。

父親は、以前うちのクラブでブラジルの話を卓話してくれました。もう 10 年くらい前ですか、まだ独身のときに 20 代だったから、その頃で卓話をやってもらう人は、20 代はほとんどなかったような気がします。そんな人なんで、彼もアグレッシブで、ブラジルへ行って、カポエラの先生をやっているのと、今はリモートが多いんだそうですけれど、ポルトガル語の大学の講師をやっています。学生るときはアフリカで行方不明になった、音信不通になったという話で、どこに行っているんだろうという騒ぎになって、まあそんな風です。あの一族はオーストラリアに住んでいたりと、なんだかんだと行っていますんで、海外についてはそんなに違和感がないということと、ぜひ本人は行きたいということで先々週の金曜日の夜電話もらって、それで会いに行き「本当に行きたいのか」と面接してきました。本人はバスケの試合に出ています、ユニホームをまだ着ていましたけれども、願書を本人に書かせました。そんなところなんです。

それからもうひとつ、GSE 委員は藤田さんに紹介していただいて、お酒を飲んでいてかなり酔っていたところに電話いただいて、「はい」と返事をしてしまったんですけれ

ど、まあ大変な仕事でした。

ただ、地区のこういうお世話をする仕事というのは、大変ですけどやりがいがありますので、やった分は経験として返ってきますんで、特に若いうちに地区でいろんなことが勉強できるといいんだろうなということをお伝えしておきます。

よろしく願いいたします。

「特別委員会について」

恵利有司

みなさんこんにちは。

特別委員会のお話しをさせていただきたいのですが、その前に、このお話をちょっとさせていただきます。

みなさんのお手元にマップがあると思うんですけど、これが、2760 地区の社会奉仕マップということで、いただいたのが、6 月 23 日に「桜の回廊特別講演会」が名古屋市公館というところでありまして、僕間違えて、名古屋市公会堂へ行ってしまうました。名古屋市公館という存在を知らなくて、随分遅刻しました。その時に、名前を忘れちゃったんですけど、講師の人が講演をやっていたんですけど、ほとんど終わっていました。2760 地区では東山動植物園で桜の植樹を継続的にやっております、その地図が裏面の方に載っています。桜の尾根道桜の回廊 継続的に桜を植樹していくというのがありまして、もしよろしければみなさん、ボランティアに行ってくださいと思います。

みなさんくれぐれも、名古屋市公館と公会堂を間違えないようにということをお伝えしたかっただけです。



本題に入りますが、ついこの間の 5 月に、理事会で私と直前会長の成田さんから提案するというカタチで、理事会に議題を挙げました。内容としては「永続的なクラブ運営において経費削減は、喫緊の課題であります。」

どういうことかと言いますとひとつ、事務局員さんの定年に伴ってですね、今は正規雇用というカタチですけど、他クラブさんでは外注に出したりですとか請負というような形で展開されているところもありまして、いろんな経費削減の中で報酬の見直しというのを含めて検討したいと。二番目として事務局の移転も含めて、経費の削減や資料の整理と、これは昨年度、私と成田会長と相談した時、事務局を片付けますと宣言したんですけど、このところ例会すら開いていなくて理事会を開催するのがやっとなという状況で、整理できていないという

がありまして、新しい事務局員さんとして加藤さんにお手伝いいただいているんですが、彼女が相当頑張ってくれて、通れる道ができた。かなりきれいになっていますが、まだもう少し我々でやる部分があるんじゃないかというのがあります。そのほかですね、会費の有効活用ということで、今会員数が42名ですけど、予算的に厳しい状況が続いております、ニコボックスの収入も計上されている中の会運営となっております、会場の移転とかいろんなことを含めて経費を減らさないと、なかなか厳しいということで、これらを解消するには、単年度の運営では難しいとなりましたので、成田会長と相談しまして複数年にわたる活動をしようかなあということで、この間の5月の理事会で特別委員会を立ち上げる承認をいただきました。メンバーの選定をしていきたいということでご推薦くださいという話をさせていただいたところ、これから申し上げる4名が推薦されましたので、ご報告いたします。

成田勝彦さん、川原弘久さん、藤田守彦さん、そして私恵利のこの4名が主になって先程申し上げたような課題に対して対応していくということでございます。

そのほかにも、同じような活動でこれは正規の組織としてですね、クラブ戦略委員会というのがございます。そちらにつきましては今後30周年に向けてどうしていくか、ガバナー補佐輩出の話ですとか、その時のIMホストなどいろいろと行事が重なって大丈夫かという、ま、30周年年度の会長どうするの？というのもございまして、私の名前がちらっと上がっているんで、できるだけ「恵利はやめておけ」と言ってほしいので、あらかじめ言うておいて「あいつはだめだな」と思っていただけるといいなとさらっと補足しておきますけど、という諸問題もございましてそれを解消すべく、先程申し上げた4名が主になって、クラブ戦力委員会とも協調して解決していきたいと思っております。だいたいこんなような感じで発足はしますが、まだ活動日程はしっかりと決まっていないのでまた活動については後日ご報告をいたしたいと思っております。

「クラブ戦略委員会」

藤田守彦

みなさんこんにちは。

今、恵利さんの方から「クラブも厳しいよね」というお話も出て、26年目のこのクラブも30周年に向けて、運営について改革していこうということで、昨年成田さんから「クラブを頼むね」と言われて、いろいろ勉強をしました。

私いつも思うんですけど、私はお役をいただくことが多いんですけど、パッと後ろを見たときに、誰もいないじゃないかと、そういうことをすごく危惧しておりますので、ぜひご理解をいただきたいということと、いろいろクラブ戦略の中で参考例が欲しいと調べていたんですけど、やっぱり丸の内ロータリーらしくしたいなと思っております。クラブとしての答えにしてもビシッビシッとはばかりでなく、ある程度余裕を持ちクッションを入れながらやりたいと思っております。でも基本は守らなければいけ

ないから、これからのクラブをどうしようということ意識して、もう一度原点回帰をしたいところです。

ちょっと質問していいですか？

この中で月初めに配布される「ロータリーの友」を読んでいる方、手をあげてください。

あ、はい。やはり少ないですね。私は今ロータリーがどういう風になっているかを知りたいものですから、必ず読んでいます。勉強するというよりも、けっこう情報がありますので皆さんも是非読んでください。そういうことで丸の内ロータリークラブの良さを残しながら基本的に組織の原点に戻って見直したいと思っています。

もうひとつ、西川博さんが青少年交換のお話をされました。馴染みのない活動がたくさんあって、ぼっと聞いただけではなかなかわかりませんね。それは、ロータリー財団のこういう活動があって、青少年交換委員会があって、その事業に交換留学生があるということ、そういうこともひとつづつ理解をしていただけるように、例会の中で周知して、もう一度本当の姿を示したいという案を作りますので、そこでコツコツとやって、今恵利さんがおっしゃっていた30周年、恵利会長のもと、成功させましょう。

一生懸命やりますからね。ポジティブに、ご意見を聞きながらプロジェクトをやりたいと思っておりますので、一つよろしく願います。

「親睦活動委員会」

森田正樹

クラブ戦略会議が始まるということで30周年もありませんので、それに向かって運営を見直そうということで、そもそもこれは私個人の意見ですが、相当の人数を出さないといけないという話で、とりあえずすべては会員増強だと思います。

ここに入会して23年、会員にさせていただいているんですけど、ロータリーはステータスの一部であり続けなければ私は意味がないと思っています。ここに入って奉仕活動をやって、それはやっぱりロータリークラブである以上、大事な活動なのであってロータリアンとしての誇りというのが守られなければ存続はできないということです。これは一個人としての意見でありますので、ま、私としてはそういうことは、なんだかんだ言ってもロータリーは親睦だということ。

親睦活動委員長として、会員数を増やして丸の内RCを盛り上げていきたい。ここには、顔の広い方がたくさんみえますので、色々ご協力いただいて今年はコロナ禍に負けずいろんなことをやっていきます。

よろしく願います。

今後の例会予定

8月5日(木)会員卓話 名鉄グランドホテル※

8月12日(木)休会(定款第8条第1節-c)

8月19日(木)会員卓話

8月26日(木)ガバナー補佐訪問